

令和6年度三重県沿岸種資源評価 タチウオ

資源水準・動向

低位・減少

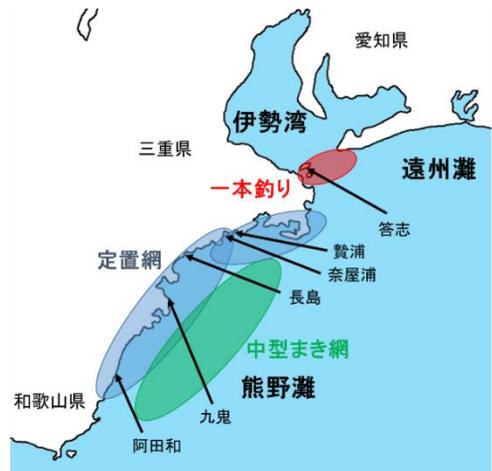


生物情報

- ・産卵期は春から秋にかけて長期にわたり、発生群ごとに春仔群，秋仔群と呼ばれる。
- ・肉食性で主に魚類を捕食し，イワシ類やトウゴロウイワシ類などを捕食する。
- ・三重県沿岸で卵が採集されることはまれであり，来遊資源と考えられる。

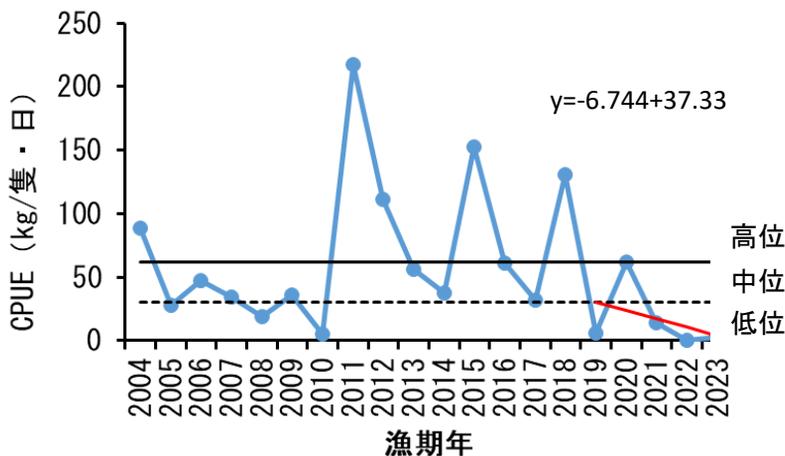
漁業の特徴

- ・熊野灘の定置網，伊良湖水道周辺の一本釣り，熊野灘の中型まき網で漁獲される。
- ・漁獲量が安定しているのは定置網で，御浜町の阿田和漁場で漁獲が多い。一本釣りは鳥羽市答志地区で多い。
- ・定置網では11～4月に多く漁獲され，一本釣りでは9～11月が盛漁期である。
- ・三重県におけるタチウオの漁獲物は1歳魚であると推測される。



資源状態

- ・定置網(阿田和漁場)のCPUEから，資源水準は「低位」とした。
- ・定置網(阿田和漁場)の直近5年間のCPUEの推移から，資源動向は「減少」とした。



資源管理の取組

- ・特に実施されていない。

将来考えられる資源管理の取組

- ・本資源は来遊資源と考えられるため，本種に対して行える資源管理は限定的である。